

おいしく、北海道らしく。



第76期 上半期

事業のご報告

平成21年4月1日～平成21年9月30日



絹艶
きぬつや



25th Anniversary

日糧製パン株式会社

経営理念

Mission ミッション (果たすべき使命・役割)

いつも安心できるおいしさと信頼感で
人と環境にやさしい企業

Vision ビジョン (達成すべき企業像)

北海道の活性化に貢献する
“真の北海道企業”への成長

Domain ドメイン (事業の領域)

良質なパン・菓子を中心とした食関連事業

目 次

- 3 株主の皆さまへ
- 4 営業の概況
- 6 連結財務諸表
- 8 株式情報
- 9 会社の概要
- 10 トピックス
- 12 株主メモ



株主・投資家の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご支援・ご鞭撻を頂き心より厚く御礼申し上げます。

ここに日糧製パングループの第76期上半期（平成21年4月1日から平成21年9月30日）における事業のご報告をお届けするにあたり、ご挨拶を申し上げます。

当上半期におきましては、昨年来の景気の低迷による生活不安から、お客様の生活防衛意識の高まりにより、「出来るだけ品質の良いものを出来るだけ低価格で」という志向が一段と強まり、低価格化が進み大変厳しい経営環境となりました。

このような経営環境のもと当社グループは、第2次中期経営計画の基本方針である「市場適合」と「変革」に基づく施策を実践していくことで安定的な収益確保を目指してまいりました。

当社は本年8月3日、山崎製パン株式会社との間で、両社のブランド価値を維持・向上させるとともに、シナジー効果の発揮による企業価値を向上させることを目的として業務資本提携契約を締結し、製品の品質と売上の向上、食品安全衛生管理体制の整備・強化をはじめとする諸施策についての取り組みを開始いたしました。

当第2四半期累計期間の連結業績につきましては、原材料費や燃料費の低下により売上原価率の低減は図られましたが、販売価格の下落が当初見込み以上に厳しいものとなった結果、売上高8,625百万円（前年同期比3.0%減）、経常利益147百万円（同31.2%減）、四半期純利益は95百万円（同45.6%減）となりました。

当社グループは、「いつも安心できるおいしさと信頼感で人と環境にやさしい企業」の経営理念のもと、「良質なパン・菓子を中心とした食関連事業」を通じて「北海道の活性化に貢献する“真の北海道企業”への成長」を目指し、ステークホルダーの皆さまに信頼と価値を提供し続けるよう努力してまいります。

株主・投資家の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



平成21年12月

代表取締役社長

吉田 勝彦

◆第76期上半期の概況

当期間における製品施策といたしましては、原材料価格値下がりへの消費者還元策として一部製品の価格改定を実施する一方で、北海道産原料を使用した新製品の投入や、旬の素材を意識した製品を継続して発売、消費者にとって価値のある製品開発を押し進め、販売数量の確保に努めました。また、AIBに基づく食品安全管理システムへの取り組みに加え、

本年4月にはISO9001の品質マネジメントシステムの認証を取得し、より安全な製品の提供を図るための体制を強化してまいりました。さらに、収益改善を目的として、生産工程におけるさまざまなロス低減活動を推進するとともに、全社的な業務改善活動を深化させ、「安全・安心」、「効率化」のキーワードを意識した取り組みを行ってまいりました。

◆部門別売上状況

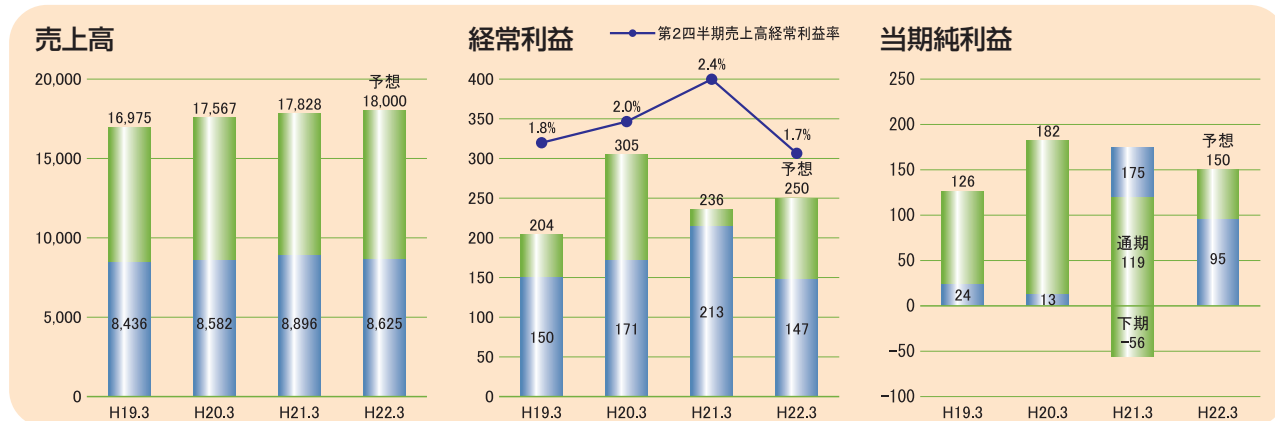
●パン部門 売上高5,500百万円（前年同期比1.2%減）

当社のトップブランドである食パン『絹艶』は、原材料の値下がりや消費者の皆さまへ還元するため4月より値下げを行い、7月には『絹艶』で北海道を食べてよう！キャンペーンを展開し、ブランドの維持向上に注力いたしました。しかしながら、プライベートブランドなど低価格帯製品へのシフトが顕著となり、食パンの売上高は前年を大きく下回りま

した。

菓子パンにつきましては、「ラブラブサンド」シリーズの積極的な展開、北海道産原料を使用した新製品「きたクック」シリーズの投入に加え、低価格帯製品の販売数量が増加したことにより前年を上回りました。その他パン（調理パン類）におきましては、既存製品のリニューアルなどを行いました。パン部門全体といたしましては、前年を下回る結果となりました。

（単位：百万円）
■ 通期 ■ 第2四半期



●菓子部門 売上高2,188百万円（前年同期比6.2%増）

和菓子におきましては、蒸しパン類は低調でしたが、大福、まんじゅう、焼菓子類が好調で、特に80円の大福やまんじゅうが伸長しました。洋菓子におきましては、スイスロール類が好調に推移したことに加え、「おつまみもち」シリーズがご好評を頂いたことにより、菓子部門全体では前年を大きく上回る結果となりました。

◆通期の見通し

今後の業績見通しにつきましては、一部で業績改善の声が聞こえるものの、先行きに対する不安感はい依然として強く、とりわけ個人消費については生活防衛意識や節約志向が継続され、引続き低迷するものと予想されます。当業界におきましては円高による小麦粉をはじめとする輸入原材料価格の値下げ期待はあるものの、原油価格の高騰や天候不良による北海道産原材料の上昇が懸念されるなど原材料価格の見通しが不透明であることに加え、流通業界の再編を含めた変化や消費者ニーズの多様化により販売競争が激化し、さらに厳しい経営環境が続くものと予想されます。

●米飯部門 売上高775百万円（前年同期比2.9%減）

新たな納入先の開拓やコンビニエンスストア向けの製品開発に注力いたしましたが、コンビニエンスストア向けの製品が低調に推移し、前年を下回る結果となりました。

このような中、当社といたしましては、山崎製パン株式会社との業務資本提携契約に基づくシナジー効果の発揮に向けたさまざまな取り組みを推し進め、引続きお客様に支持される安全・安心で価値のある製品とサービスの提供を図り収益の確保に向けて鋭意取り組んでまいります。

平成22年3月期の予想数値につきましては、下記の第76期第2四半期連結業績および通期予想に記載したとおりです。

（単位：百万円）

第76期第2四半期

（平成21年4月1日～9月30日）

連結業績および通期予想

	上半期	対前年増減率	第76期通期予想	対前年増減率
売上高	8,625	△ 3.0%	18,000	1.0%
営業利益	158	△ 31.1%	300	9.0%
経常利益	147	△ 31.2%	250	5.5%
四半期(当期)純利益	95	△ 45.6%	150	25.8%

※業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものです。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合がありますので、この業績予想に全面的に依拠して投資などの判断を行うことは差し控えて下さい。

連結財務諸表

■ 連結貸借対照表（要旨）

科目	期別	第76期	第75期	第75期
		上半期	上半期	通 期
		(平成21年 9月30日現在)	(平成20年 9月30日現在)	(平成21年 3月31日現在)
（資産の部）				
流動資産		4,298,223	4,756,475	3,853,172
現金及び預金		1,927,375	2,235,600	1,302,711
受取手形及び売掛金		1,734,493	1,748,733	1,959,897
たな卸資産		387,258	397,258	380,363
繰延税金資産		159,366	258,212	135,116
その他		89,729	116,670	75,081
固定資産		8,572,636	8,671,001	8,626,766
有形固定資産		7,927,860	7,987,395	7,995,444
無形固定資産		60,878	34,644	51,832
投資その他の資産		583,898	648,962	579,489
投資有価証券		458,907	574,743	425,386
繰延税金資産		57,477	—	87,464
その他		67,512	74,218	66,638
資産合計		12,870,860	13,427,477	12,479,938

（単位：千円）

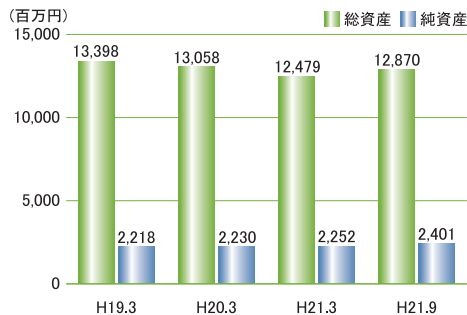
科目	期別	第76期	第75期	第75期
		上半期	上半期	通 期
		(平成21年 9月30日現在)	(平成20年 9月30日現在)	(平成21年 3月31日現在)
（負債の部）				
流動負債		5,695,737	6,143,348	5,772,999
支払手形及び買掛金		2,170,932	2,292,205	2,257,618
短期借入金		1,750,000	1,750,000	1,650,000
1年内返済予定の長期借入金		748,100	851,700	790,550
その他		1,026,704	1,249,442	1,074,830
固定負債		4,773,294	4,888,634	4,454,296
長期借入金		1,615,800	1,663,900	1,291,850
再評価に係る繰延税金負債		1,609,231	1,609,231	1,609,231
退職給付引当金		1,517,632	1,568,628	1,524,719
その他		30,630	46,873	28,495
負債合計		10,469,031	11,031,982	10,227,295
（純資産の部）				
株主資本		△6,266	△44,714	△101,132
資本金		1,051,974	1,051,974	1,051,974
利益剰余金		△1,050,433	△1,089,793	△1,145,729
自己株式		△7,807	△6,894	△7,377
評価・換算差額等		2,408,094	2,440,209	2,353,774
純資産合計		2,401,828	2,395,495	2,252,642
負債純資産合計		12,870,860	13,427,477	12,479,938

■ 資産、負債及び純資産の状況

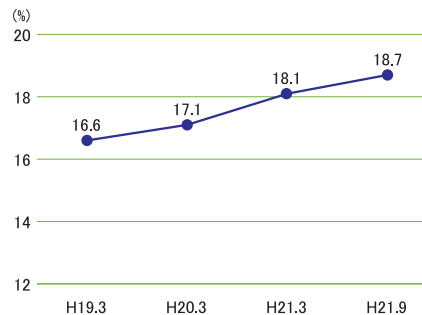
前連結会計年度末と比較し、資産の部におきましては、季節要因による売掛債権の減少、設備投資等の資金調達による借入金の借入・返済の進捗状況により、現金及び預金が624百万円増加、投資有価証券は株式市場の状況を反映し33百万円増加しております。

負債の部におきましては、借入・返済の進捗状況により、借入金が短期・長期をあわせて、381百万円増加しております。

■ 純資産・総資産



■ 自己資本比率



■ 連結損益計算書（要旨）

（単位：千円）

科目	期別	第76期上半期	第75期上半期	第75期通期
		(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)	(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)	(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)
売上高		8,625,909	8,896,476	17,828,252
売上原価		6,623,824	6,896,229	13,945,233
売上総利益		2,002,084	2,000,247	3,883,019
販売費及び一般管理費		1,843,133	1,769,390	3,607,666
営業利益		158,951	230,856	275,353
営業外収益		23,818	22,850	41,827
営業外費用		35,568	39,849	80,295
経常利益		147,201	213,857	236,884
特別利益		17,946	414	26,464
特別損失		87,670	62,198	103,693
税金等調整前四半期(当期)純利益		77,477	152,073	159,656
法人税、住民税及び事業税		7,025	7,158	14,439
法人税等調整額		△24,843	△30,232	26,005
四半期(当期)純利益		95,295	175,147	119,212

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

科目	期別	第76期上半期	第75期上半期	第75期通期
		(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)	(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)	(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー		474,747	628,084	545,913
投資活動によるキャッシュ・フロー		△231,153	△302,796	△619,831
財務活動によるキャッシュ・フロー		381,070	254,409	△279,273
現金及び現金同等物の増減額		624,664	579,697	△353,191
現金及び現金同等物の期首残高		1,302,711	1,655,902	1,655,902
現金及び現金同等物の期末残高		1,927,375	2,235,600	1,302,711

■ 第76期 上半期 連結損益計算書のポイント

売上総利益

消費の低迷や販売価格低下の影響を受け売上高は減少いたしました。また、原材料費や燃料費の低減により、連結の売上総利益は、2,002百万円（前年同期比2百万円増）となりました。

販売費及び一般管理費

外注物流費、広告宣伝費などにおいて減少しましたが、販売業務を一部内製化したことにより従業員数が増となり人件費は増加し、当上半期の販売費及び一般管理費は、1,843百万円（前年同期比73百万円増）となりました。

経常利益、四半期(当期)純利益

経常利益は、売上高減少の影響が大きく、燃料費等で費用削減となりましたが、147百万円（前年同期比66百万円減）にとどまりました。四半期純利益は、経常利益減に加え、固定資産除却損の増加等により、95百万円（前年同期比79百万円減）となりました。

■ 第76期 上半期 連結キャッシュ・フローの状況

当上半期末における現金及び現金同等物は、前期末より624百万円増加し、1,927百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フロー

価格改定及び競争激化による販売価格の下落に伴う売上減により、474百万円の増加にとどまりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

主に設備投資による支出により、231百万円の減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

借入金の借入・返済の進捗により、381百万円の増加となりました。

株式の状況

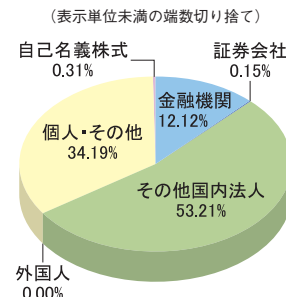
- ① 会社が発行する株式の総数（普通株式）84,000,000株
- ② 発行済株式の総数（普通株式）21,039,480株
- ③ 株主数 1,500名
(うち議決権を有する株主数 1,028名)

大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
山崎製パン株式会社	5,982千株	28.44%
日糧取引先持株会	2,147	10.21
日糧従業員持株会	1,212	5.77
株式会社ADEKA	1,052	5.00
株式会社北洋銀行	1,038	4.94

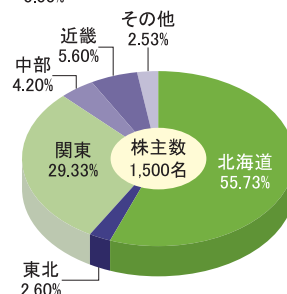
所有者別分布状況

- 金融機関 ……2,550 千株
- 証券会社 ……32
- その他国内法人 ……11,195
- 外国人 ……1
- 個人その他 ……7,194
- 自己名義株式 ……66



株主の地域別分布状況

- 北海道 ……836名
- 東北 ……39
- 関東 ……440
- 中部 ……63
- 近畿 ……84
- その他 ……38



山崎製パン株式会社との業務資本提携契約及び 主要株主である筆頭株主の異動に関するお知らせ

当社は、平成21年8月3日に山崎製パンとの間において、両社のブランド価値を維持・向上させるとともに、両社の企業価値を向上させる事を目的として、業務資本提携契約を締結いたしました。また、本業務資本提携に伴い、山崎製パンは、同年8月7日に三菱商事株式会社、日清製粉株式会社、オリエンタル酵母工業株式会社および石川株式会社が保有していた当社の普通株式5,982,969株（発行済株式総数の28.44%）を譲り受け、当社の筆頭株主となりました。

業務資本提携の目的を実現するため、両社が共同・協力して、製品の品質・売上向上、物流の効率化、原材料の共同購入、生産設備の改善、改良、更新および効率化の推進、食品安全衛生管理体制の整備・強化、新素材・新技術の共同研究、生産

管理システムの導入等の施策について継続的に協議・検討し、シナジー効果の発揮による企業価値の向上に努めてまいります。

山崎製パン株式会社の概要

(平成20年12月31日現在)

(1) 名称	山崎製パン株式会社
(2) 所在地	東京都千代田区岩本町三丁目10番1号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 飯島延浩
(4) 事業内容	食パン、菓子パン、和菓子、洋菓子、調理パン・米飯類等の製造および販売ならびにその他仕入れ商品の販売
(5) 資本金	11,014百万円
(6) 設立	昭和23年6月
(7) 連結売上高	811,738百万円
(8) 連結総資産	614,399百万円

商号	日糧製パン株式会社
本店所在地	札幌市豊平区月寒東1条18丁目5番1号
設立	昭和21年5月16日(創業昭和18年)
資本金	10億5,197万円
事業内容	パン・菓子等の製造および販売ならびにその他食料品の販売
従業員数	【連結】681名 【単体】663名
関連会社	株式会社ノースデリカ

【本社】 〒062-8510 札幌市豊平区月寒東1条18丁目5番1号 (011)851-8131

【工場・事業所】

- ・月寒工場 〒062-8510 札幌市豊平区月寒東1条18丁目5番1号 (011)851-8131
- ・琴似工場 〒063-0814 札幌市西区琴似4条7丁目4番7号 (011)611-8231
- ・釧路事業所 〒084-0905 北海道釧路市鳥取南6丁目2番18号 (0154)51-2424
- ・函館事業所 〒041-0812 北海道函館市昭和4丁目23番1号 (0138)41-2385

【支店】

- ・旭川支店 〒079-8442 北海道旭川市流通団地2条1丁目11番地6 (0166)48-2679

【営業所】

- ・帯広営業所 〒080-2463 北海道帯広市西23条北1丁目5番7号 (0155)37-2215
- ・北見営業所 〒090-0837 北海道北見市中央三輪8丁目16番6号 (0157)66-5226
- ・青森営業所 〒038-0001 青森県青森市新田2丁目32番26号 (017)781-9009

■ 取締役・監査役一覧

代表取締役社長	吉田勝彦
取締役	吉沢武治
取締役	青木中
取締役	月崎暁
取締役	毛利信作
常勤監査役	小山照幸
監査役	伊東孝
監査役	豊田実

(注) 1. 毛利信作氏は、社外取締役であります。
2. 伊東孝氏、豊田実氏は社外監査役であります。

■ 執行役員一覧

社長執行役員 ※	吉田勝彦	常務執行役員	信田紀生
副社長執行役員	園田誠	常務執行役員	北川由香里
副社長執行役員	深澤忠史	執行役員	落合久仁雄
専務執行役員 ※	吉沢武治	執行役員	布施幸秀
専務執行役員	宮崎広	執行役員	木戸博樹
常務執行役員 ※	青木中	執行役員	栗田昌直
常務執行役員 ※	月崎暁		

(注) ※印は、取締役兼務者であります。

『絹艶』 好評発売中&キャンペーンを実施！

「しっとり」「やわらか」な食感が特徴の『絹艶』は、皆さまからのご支持を頂き、発売5年目を迎えました。また今年3月に行った“『絹艶』で北海道を食べよう！”キャンペーンを、7月及び10月にも展開し、多数のご応募を頂きました。

『絹艶』は、これからも日々変わらないおいしさをお届けしてまいります。



『きたクック』シリーズ発売！ ～より「おいしく、北海道らしく。」を目指して

「おいしさを追求し、北海道の味覚に合った安全で安心な製品を提供していきたい」との思いから、当社では地元北海道の素材を活かした製品開発を継続的に進めております。今年9月からは、新たにその取組みをお客様にわかりやすく伝えるため、「きたクック」シリーズを発売しました。

「きたクック」シリーズでは、「北海道産素材を使用した製品」もしくは「北海道企業との共同開発製品」を対象として、右のマークをパッケージに追加しています。これからも当社は、北海道の良質な素材を使用しながら、より品質の高い製品づくりに取り組んでまいります。ぜひ一度「きたクック」シリーズをお試し下さい！



主な「きたクック」シリーズ



十勝しゃっきりコーン



全粒粉ブレッド



北海道バターの
しっとり食パン



小豆もちもち



主に使用している北海道産原料をパッケージに掲載しています。

「ラブラブサンド」発売25周年&リニューアル！

ラブラブサンドは今年で発売25周年！
10月からは、「やわらか、ふんわり、なめらか」なパン生地を使用し、更においしくなりました。
パッケージも一新され、より華やかになった「ラブラブサンド」をぜひご賞味下さい！

フィリング増量で
更においしく！

.....定番の菓子系ラブラブサンド.....



チョコレート



ピーナツ



はちみつ&
マーガリン

.....惣菜系ラブラブサンド 「e-dish」シリーズ.....



ジューシー
ツナ



ジューシー
タマゴ



ハムポテト

.....新商品.....



バイクドチーズ
風味



プリン



北海道のFM局Air-Gとのタイアップで
25周年記念キャンペーンを実施中！
(詳細は当社ホームページをご覧ください)

当社ホームページが更に使いやすくなりました！

2009年10月より当社ホームページをリニューアルしました。毎月更新される「今月の新商品」情報や『絹艶』をはじめとした製品をもっとおいしく楽しんでいただくための「nichiryuレシピ」や「親子deクッキング」といったレシピコーナーなど、充実した内容となっております。ぜひ一度ご覧下さい。

当社ホームページアドレス
<http://www.nichiryu-pan.co.jp/>



定番商品の栄養成分表示
・アレルギーをご覧頂ける
ようになりました。

当社業績に関する情報は、
従来と同様「決算・IR情報」
より、ご覧頂けます。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月下旬

基準日 3月31日
そのほか臨時に必要な場合は、あらかじめ公告いたします。

株主名簿管理人
兼
特別口座管理機関
みずほ信託銀行株式会社
(東京都中央区八重洲一丁目2番1号)

	証券会社に口座をお持ちの場合	証券会社に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先及び 電話お問合せ先	株主様自身が口座を開設されている 各証券会社へお問合せ下さい	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 住所 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 電話番号 0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店
ご注意		特別口座では、単元未満の買取以外の株式売買を行うことができません。株式売買を行う場合は、証券会社へ口座を開設する必要があります。また、株券電子化前に名義書換を失念して、お手元に他人名義の株券がある場合は至急上記の電話番号へお問合せ下さい。

公告方法 電子公告
当社ホームページに掲載 (アドレス) <http://www.nichiryu-pan.co.jp/ir/koukoku.html>
ただし、やむを得ない事由により電子公告による公告ができない場合は、北海道新聞に掲載して行います。

上場証券取引所 札幌証券取引所 (証券コード: 2218)

株主優待 毎年3月31日(基準日)現在の株主名簿に記載された1単元(1,000株)以上を保有の株主様、1記名に対して、販売価格2,000円相当の当社製品をお送りいたします。

(注意事項)

*本資料における業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき、当社で判断したものです。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合がありますので、この業績予想に全面的に依拠して投資などの判断を行うことは差し控えて下さい。

おいしく、北海道らしく。

